

市長室から（3月12日記）

新年度を迎えて

新年度を迎え、市民の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

三笠の春は、風の強い日が続きますので、気を付けてお過ごしください。

この冬は、雪が多く、除雪が大変だったかと思えます。大変ご苦労様でした。

市では、「ぬくもり除雪サービス事業」により雪対策を行っていますが、まだ利用されていない方もいらっしゃるかと思えます。

玄関先の雪対策などでお困りの方は、ぜひ一度「ふれあい健康センター」へご相談ください。

さて、いよいよ今日から新年度に入りました。

3月の定例市議会で、平成30年度の予算を決めていただきましたが、今年は従来の事業のほかに、主な事業として「愛の鐘放送設備更新検討事業」・「小中学校・高校のトイレ改修事業」・「スポーツセンター耐震改修事業」・「中学生ピロリ菌検査除菌事業」・「野良猫対策事業」・「農村地域防災減災事業」等々を盛り込んでいます。

中でも、愛の鐘放送設備更新検討事業は、昨年の市政懇談会の中で皆さんからご指摘いただいたことによるもので、最近では、北朝鮮による弾道ミサイルの日本上空通過に加え、自然災害の発生など住民周知を確実なものとするため、生命に関わる問題として何より重要との認識から、検討に入ることにしたものです。

また、農村地域防災減災事業も災害関連のもので、農村地域に点在する「ため池」のうち、防災重点ため池のハザードマップを作成するための費用です。

更には、小中学校・高校のトイレ改修事業は、各家庭のトイレの水洗化が進んだ結果、洋式のトイレが増えたため、学校で従来のトイレを使用することを我慢して体調を崩す児童生徒がいることに加え、災害発生時の避難所に指定されている関係から改修を行うものです。

今年は、三笠高校の高校生レストランがオープンし、高校生が実践を学ぶ場として成果を期待していますが、これに伴い、市外からお客様が来ていただけたらと思っており、こうしたかたがたを一人でも多く増やし、交流人口を増加させることによって、経済効果につなげ、豊かなまちづくりを進め、まちの維持のための費用を捻出し、循環させていくことも重要であると考えています。

三笠市のにとっては、外部にアピールできる新しい施設が誕生します。

市外から来られる方から、いろいろ尋ねられることも多くなると思えますが、ぜひとも歓迎を心がけて対応していただければと考えています。

市では、今年度も人口対策に力を入れていきます。

それは、人口が少なくなると上部機関から見れば、政策効果の面から資金を投入しにくくなり、結果として市からの要望が通らなければ、環境整備などが進まず、人口減少がさらに加速し、まちの財政がますます苦しくなる可能性があるからです。

その意味でも、人口はまちの力です。

三笠市では、平成23年から本格的に人口対策に取り組み、ほかのまちに比べ効果を上げてきました。が、これからもしっかりと取り組んでいかなければならないと考えています。

現在の市民へ提供する政策も、それらとのバランスの中で検討しながら進めていきますので、ご理解をお願いいたします。

市民の皆さん、本年度もどうぞよろしくお願ひします。

（広報みかさ平成30年4月号に掲載したものです。）